

質 問

4 番 大場 豪文 議員

新型コロナウイルス感染症対策について質問します。

対策本部会議についてですが、昨今、新型コロナウイルス感染症・第3波が全国で猛威を奮っております。まずは医療関係者と、このコロナ禍で戦っている全ての皆様に敬意と感謝を申し上げます。そして、現在コロナウイルスに感染して苦しんでいる皆様に1日でも早い回復をお祈り申し上げます。

さて、この新型コロナウイルスですが、日本で最初の感染者が報告されたのは、今年の1月16日でした。その後、全国的な感染拡大、いわゆる第1波を受け、静岡県を含む全国を対象に緊急事態宣言が発令されました。これが4月のことでございます。本市においても新型コロナウイルスにより、予定されていたイベントの中止や、学校の休校などの対応が行われている状況を受け、市長を本部長とする「沼津市新型コロナウイルス感染症対策本部」が本年2月28日に設置されております。対策本部会議は第1回の開催から第9回までを5月15日までに行っています。第10回目の開催は市内初のクラスターが発生した先月11月のことです。この9回目と10回目には6ヶ月という空白があります。この間、第2波の発生、GOTOトラベル、GOTOイートの実施など、新型コロナウイルスに関係する事案は数多く発生しておりました。5月15日を最後に更新が止まったホームページ内「沼津市の対応について」を見て不安を感じた市民もいるのではないのでしょうか。この対策本部会議が開催されていなかった半年の間、どのような対策・対応をされていたのでしょうか。

次に、市民への情報提供についてです。

ホームページについて伺います。報道番組では連日、静岡県内各市町の感染者数が発表されています。感染者数が増えれば不安感や危機感が増し、前日より減少していればこのまま収まってくれと願いたくなるのは皆同じだと思います。しかしこの感染者数は決して他人事ではありません。昨今の感染拡大により明日自分もこの数に含まれるのではないかということが最も心配されることです。去年までは、自分の体調に異変を感じたら風邪やインフルエンザを疑い病院に駆け込むことが当たり前でした。しかし今年からは体調不良＝コロナかもしれないという不安が頭をよぎります。自分がコロナに感染した可能性を感じたらどうすれば良いのでしょうか。

本市のホームページを見ますと、まず記載されているのが、静岡県発熱等受診相談センターと新型コロナウイルス感染症相談受付窓口の連絡先です。感染を疑う場合の個人個人の症状は様々です。その症状や「かかりつけ医」の有無により連絡先や対応が変わります。この部分のフローをわかりやすく誘導することが必要と感じますがどうお考えでしょうか。私自身で静岡県の本市以外の34の市町のホームページでのコロナウイルスへの対応について確認したところ、本市のホームページが劣ることはなく、比較的親切なものでした。だからこそ、他の市町に先行して今以上市民にわかりやすく、丁寧で、いざと言うときの不安を少しでもやわらげることができるホームページに期待しています。

次に、広報ぬまづについて伺います。ホームページを活用できない高齢者や利用環境の無い方々にとって本市の情報を得る唯一のアイテムは「広報ぬまづ」です。11月15日号では、表紙に「新

質 問

型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせ」とあり相談窓口として危機管理課の2つの電話番号と受付時間8時30分から17時15分で土曜・日曜・祝日・休日を除くと掲載されています。時間外や土日休日はどう対応したら良いのかは記載されておりませんし、この情報以外の詳細は掲載されておりません。また12月1日号については、どこを探しても新型コロナウイルス感染症対策に関する連絡先等が掲載されておりません。情報弱者が最も多いと考えられる高齢層は同時に最もコロナウイルスから守るべき対象です。今後掲載する予定はあるのでしょうか。

次に、市役所内における対策についてです。

11月22日、本市において初めてとなるクラスターが発生しました。利用客の方々が迅速に保健所へ連絡して頂いたことにより、大きな拡大は防げていると思われれます。しかし静岡県内では医療施設をはじめ、非常に多くのクラスターが発生しており、今後、市内でもいつどこでクラスターが発生するのかは誰も予期できません。そのクラスターが本市の本丸である市役所内で発生したらどうなるのでしょうか。本市の業務が一部でも滞れば市全体に関わる大きなダメージとなります。例として上げますと茨城県の土浦市職員が新型コロナウイルスに感染し、その後市庁舎内でクラスターが発生したと認定されました。市役所関係者だけでも700人規模のPCR検査が行われたことはご存知かもしれません。そこで市役所内のコロナ対策がどうなっているのでしょうか。まずは市役所正面玄関での消毒に注目してみました。小さなことと思われるかもしれませんが、とても重要な対策です。検証は連休明けの11月24日に正面玄関で消毒をしてから施設内に入る利用者、これは職員も含まれます。100名の来庁者を実際に確認した結果です。ちなみに皆様はどれくらいの方が消毒を利用していたと思いますか。私自身は60~70%くらいの方々が利用していると想像しておりました。ちなみに先日、職員の方々数名に聞いたところ私同様50~70%との予想が最も多い回答でした。実際は、とても残念なことに100名中たった4名の利用という結果です。これは皆様同様、まったく想像できない人数でございました。しかしこの原因の一つはすぐに分かるものでした。ご存知の通り正面玄関には、自動ドアと手動ドアと2か所の入り口があります。消毒液は、自動ドアと手動ドアの間に1か所設置されているだけで死角となり、消毒液が設置してあること自体確認しにくい状態だったのです。この検証結果と設置環境について当局に伝えたところ、2日後には設置場所を移動し、その後週明けには、1つしかなかった消毒液を自動ドア・手動ドアにそれぞれ設置していただきました。改善された後の利用率は気になるところでございますが、現状はどうでしょうか。来庁者に対して先進的で効果性のあるコロナ対策は必須でございます。この他の来庁者へのコロナ対策の現状についてお聞かせください。

次に、今後の対策について伺います。

職員が感染しないための対策として、既にマスク着用やソーシャルディスタンス、換気など、基本的な対策を市役所内でも取り組まれていると存じます。しかし、他の市町村に目を向けてみると更に一步進んだ対策が行われています。神戸市役所においては働き方改革の取り組みとしてコロナ禍でも注目されているリモートワークの普及や情報システムの改善に努めています。本市でのリモートワークについていかがお考えでしょうか。リモートワークが可能な部署、実施できない部署はあるのでしょうか。これまでも数多くの感染を防ぐ対策はされているとは思いますが今後検討している対策があればお聞かせください。

質 問

次に、職員が感染した場合の対応についてですが、あわせて本市で今後職員が感染した場合の対応についてもお聞かせ頂きたいと思います。